



- 当初予算関連事業2~4面
- 住みいるリフォーム補助5面
- 市民ガイド7~11面

救急病院当番表(5月)を11面に掲載しています。

- トライアスロン中島大会参加者募集 ...12面

発行:松山市役所/編集:総合政策部シティプロモーション推進課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 まつやま

平成27年度 当初予算

総額は3,806億2,901万円

「笑顔の先にある幸せ実感予算」



基本政策(市長公約)

- 健幸(健康)**
 - ① 子育て・教育で幸せ実感
 - ② 福祉・医療で幸せ実感
 - ③ 環境・安全安心で幸せ実感
- 賑幸(振興)**
 - ④ 産業・雇用で幸せ実感
 - ⑤ スポーツ・文化で幸せ実感
 - ⑥ 交通で幸せ実感
 - ⑦ 地域の宝で幸せ実感
- 幸共(公共)**
 - ⑧ 市民主体・連携で幸せ実感

●歳出
 歳出の主なものでは、民生費の約830億円(対前年度比2・21%増)がトップで、入所待ち児童の解消に向けて、認可保育所などと同等の基準を満たす保育施設の整備や、待機児童が多い地区の認可保育所で児童の受入体制を整備するなど、多様な保育事業を提供します。また子ども医療費は、小学校就学前までの完全無料化に加え、入院費の無料化を中学3年生まで拡大、さらに、ひとり親家庭の医療費助成の対象に父子家庭を新たに追加するなど、子

一般会計

本市の平成27年度当初予算が3月定例市議会で決まりました。総額は過去最大の3806億2901万円となり、一般会計も同じく過去最大の1794億円(前年度に比べ3・76%の増)となっています。第6次松山市総合計画基本構想に掲げる将来都市像の実現はもとより、公約の実現に向けて、笑顔の先にある「幸せ」を市民が実感できるさまざまな分野にわたる施策の遂行に配慮した予算編成となっています。(2~4面に関連記事)

●歳入
 歳入の主なものでは、市税が620億円(同1・64%増)で、次いで国庫支出金の約380億円(同3・48%増)、地方交付税が210億円(同1・41%減)と続いています。

特別会計

特別会計の主なものでは、国保会計が約634億円、介護保険会計が約439億円、競輪会計が約184億円、後期高齢者医療会計が約54億円

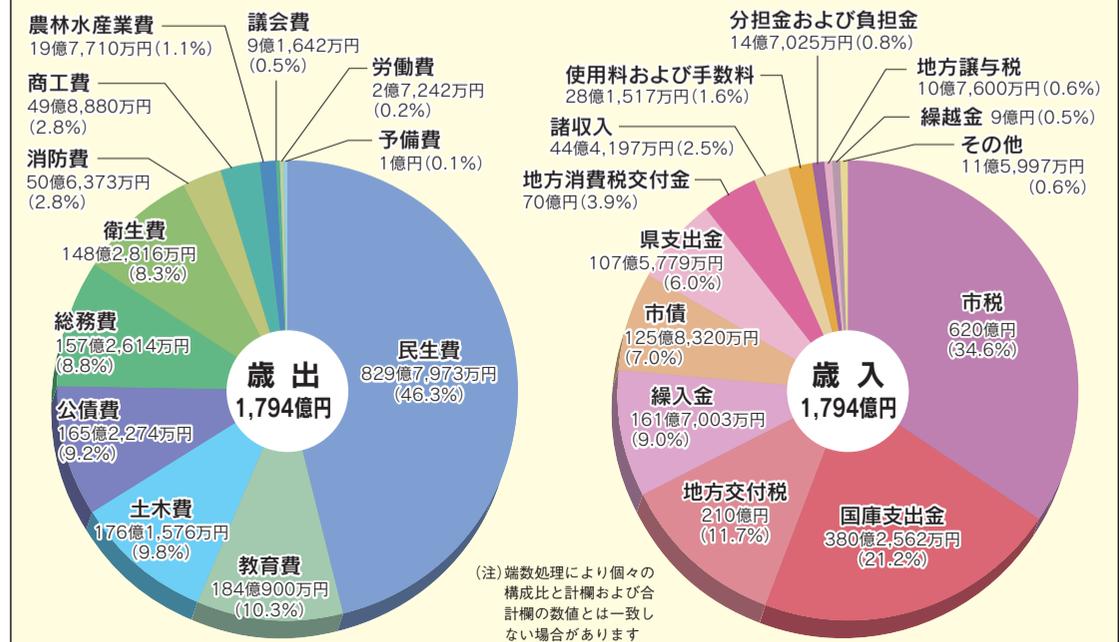
当初予算の内訳

区分	予算額	対前年度比	
		増減額	伸び率
一般会計	1,794億円	65億円	3.76%
特別会計	1,334億4,760万円	19億1,350万円	1.45%
企業会計	488億3,491万円	5億4,932万円	1.14%
合計	3,616億8,251万円	89億6,282万円	2.54%
公債管理会計	189億4,650万円	8億8,480万円	4.90%
総額	3,806億2,901万円	98億4,762万円	2.66%

企業会計

企業会計では、下水道会計が約313億円、水道会計が約145億円、工業用水道会計が約24億円、簡易水道会計が約7億円となっています。

一般会計の内訳



市長所信表明(要旨)

平成27年度の国の地方財政対策は、地方の一般財源総額について、前の年度の水準を相当程度上回る額を確保したとされていますが、景気回復による地方税



3月定例市議会で所信を表明する野志市長

の伸びを見込んだものになっています。一方、本市では国が見込むほどの市税収入の伸びは期待できない中で、社会保障関係など財政需要の増大が避けられず、厳しい財政運営となることを覚悟しなければなりません。こうした状況下でも、私は、「二人でも多くの人を笑顔に幸せ実感都市まつやま」をキャッチフレーズに掲げ、アクセス(市民に近い)&アクセイブ(現地現場)&アクション(すぐ行動)をスローガンに、市民の皆さん

が、自分たちのまちに「愛着や誇り」を持ち、いきいきと笑顔で幸せが実感できるまちにしていきたいと決意を新たにしています。平成27年度の本市予算編成では、引き続き持続可能な財政運営に努めるとともに、新年度予算を、幸せを実感できる明日の松山に向け、人づくり、都市づくりを中心に、その足がかりとするスタート「笑顔の先にある幸せ実感予算」と位置づけ、8つの「幸せ実感」をキーワードにした政策と30の「幸約(公約)」に沿った施策の具現化に重点的に取り組むことにしました。